

観 点	発 行 者	9・開隆堂	38・光村	116・日文
取扱内容 学習指導要領の総則及び各教科の目標、内容等	○ 目標の達成を目指す絵や彫刻に表す学習活動			
	<ul style="list-style-type: none"> 身近な人の姿や自分の大切にしているものを観察して絵を描いたり、材料の形や色彩、質感などの特徴を生かして表したりする活動（第1学年） 墨の濃淡や筆遣いによって、空間の広がりや奥行きのある絵を描いたり、さまざまな出来事や心に残る情景を立体的に表したりする活動（第2・3学年） 	<ul style="list-style-type: none"> 身近な人のもつ雰囲気や表情やしぐさから捉えて絵を描いたり、自然物の美しさや特徴などを形や色彩、質感などから捉えたりする活動（第1学年） 目の錯覚を利用して形や色彩のトリックを使った絵を描いたり、空想の世界の動物を立体に表したりする活動（第2・3学年） 	<ul style="list-style-type: none"> 身近にあるものや愛着のあるものをよく見て絵を描いたり、木の枝や石、廃材などの形や色彩、質感を生かして表したりする活動（第1学年） 視点の違いや構図を工夫して印象の変化を生かして絵を描いたり、動物の特徴やイメージを立体に表したりする活動（第2・3学年） 	
	○ 目標の達成を目指すデザインや工芸に表す学習活動			
	<ul style="list-style-type: none"> 身のまわりにある形や色彩から模様を考えたり、木の特徴を生かした使いやすい工芸品をつくったりする活動（第1学年） 世界観や魅力を伝えるためのイラストレーションのデザインを考えたり、使う人々が心地よく過ごせる空間のデザインを工夫したりする活動（第2・3学年） 	<ul style="list-style-type: none"> 形や色彩が見る人に与える効果を理解してロゴマークのデザインを考えたり、使いやすさや装飾の美しさを考えて焼き物をつくったりする活動（第1学年） 地域の魅力を表すパッケージのデザインを考えたり、人々が利用しやすい公共施設のデザインを工夫したりする活動（第2・3学年） 	<ul style="list-style-type: none"> 自然物や人工物の特徴から模様を考えたり、木の質感や特性、形や色彩に着目し、使う場面を考えて道具をつくったりする活動（第1学年） 布の質感や染色の技法を生かしたデザインを考えたり、過ごす人の思いなどを考えて環境のデザインを工夫したりする活動（第2・3学年） 	
	○ 目標の達成を目指す鑑賞する学習活動			
<ul style="list-style-type: none"> 作者の意図や自分なりの解釈について話し合う活動（第1学年） 図屏風や水墨画のよさや美しさについて話し合う活動（第2・3学年） 	<ul style="list-style-type: none"> 版画の線や面、色の重なりなど表現のよさや特徴について話し合う活動（第1学年） 日本の美術と西洋の美術に与えた影響について話し合う活動（第2・3学年） 	<ul style="list-style-type: none"> 原始美術の造形的なよさや意図について話し合う活動（第1学年） 現代美術の美しさや面白さについて話し合う活動（第2・3学年） 		
○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習へ対応する学習活動				
<ul style="list-style-type: none"> 「イメージを伝える形」の題材において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、ロゴタイプの形や色彩について交流する活動（第1学年） 「イメージを形にして」の題材において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、自分の思いや材料など 	<ul style="list-style-type: none"> 「心ひかれるこの風景」の題材において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、身の回りの風景を描いた作者の思いや表現の工夫について交流する活動（第1学年） 「あかりがつくる空間」の題材において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、様々な光が与える印象 	<ul style="list-style-type: none"> 「材料に命を吹き込む」の題材において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、身の回りの材料などの形や色彩の特徴について交流する活動（第1学年） 「魅力を伝えるパッケージ」の題材において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、中身のイメージを 		

	を基に表現方法について交流する活動（第2・3学年）	や効果について交流する活動（第2・3学年）	基に美しさや伝達の効果について交流する活動（第2・3学年）
内容の構成・排列、分量等	○ 内容の構成、排列・分量等についての工夫		
	<ul style="list-style-type: none"> 「ずっと木といっしょに」の題材において、木目を生かして、握りやすいナイフを紹介し、家庭科との関連を写真等で示すなどの工夫（第1学年） 「文化を守り、育む」の題材において、捨てずに資源として再利用する南部裂織を紹介し、社会科との関連を写真等で示すなどの工夫（第2・3学年） 	<ul style="list-style-type: none"> 「暮らしをいろどる文様」の題材において、エッシャーの敷き詰め模様を紹介し、数学科との関連をコラム等で示すなどの工夫（第1学年） 「メッセージを伝える」の題材において、ポスターなどの広告に入るコピーを紹介し、国語科との関連をコラム等で示すなどの工夫（第2・3学年） 	<ul style="list-style-type: none"> 「自然の美しさから生まれた」の題材において、建築や芸術作品に生かされている黄金比を紹介し、数学科との関連を写真等で示すなどの工夫（第1学年） 「どこまで修復すべきか」の題材において、美術文化の継承の意義や方法などを紹介し、道徳との関連を写真等で示すなどの工夫（第2・3学年）
	○ 内容の分量		
	<ul style="list-style-type: none"> 第1学年 72 ページ（約9%増） 第2・3学年 128 ページ（約5%増） 	<ul style="list-style-type: none"> 第1学年 68 ページ（約15%減） 第2・3学年 106 ページ（約2%増） 	<ul style="list-style-type: none"> 第1学年 74 ページ（ほぼ同様） 第2・3学年（上）64 ページ（ほぼ同様） 第2・3学年（下）60 ページ（ほぼ同様）
使用上の配慮等	○ 生徒の学習意欲を高める工夫		
	<ul style="list-style-type: none"> 巻末で、「学びの資料」として、表現活動や制作する中で必要となる知識や技法などを紹介（全学年） 「持続可能な未来へ」で、ウポポイを紹介（第2・3学年） 	<ul style="list-style-type: none"> 巻末で、「学習を支える資料」として、美術作品の鑑賞方法などを紹介（全学年） 「北と南の民族衣装」で、アイヌ民族の伝統的な衣装を紹介（第2・3学年） 	<ul style="list-style-type: none"> 巻末で、「学習を支える資料」として、技能の習得や題材に関連した鑑賞資料などを紹介（全学年） 「暮らしに息づくパブリックアート」では、道内の屋外彫刻を紹介（第2・3学年）
	○ 主体的に学習に取り組むことができるような工夫		
	<ul style="list-style-type: none"> 題材の冒頭で、生徒に身に付けさせたい力をマークや囲みで例示 題材の随所で、学習のポイントを例示 	<ul style="list-style-type: none"> 題材の冒頭で、生徒に身に付けさせたい力をマークや囲みで例示 題材の随所で、学習のポイントを例示 	<ul style="list-style-type: none"> 題材の冒頭で、生徒に身に付けさせたい力をマークや囲みで例示 題材の随所で、造形的な視点を例示
○ 使用上の便宜			
	<ul style="list-style-type: none"> 各題材の内容ごとに色で提示する配慮 用具の安全な使い方や配慮すべき内容についてマークを提示する配慮 	<ul style="list-style-type: none"> 各題材の内容ごとに色で提示する配慮 用具の安全な使い方や配慮すべき内容についてマークを掲示する配慮 	<ul style="list-style-type: none"> 各題材の内容ごとに色で提示する配慮 用具の安全な使い方や配慮すべき内容についてマークを掲示する配慮
指導上の配慮等	○ 地域素材		
	<ul style="list-style-type: none"> 札幌市徽章のマークや小樽市の風景を利用したポスター、札幌芸術の森美術館に所蔵している彫刻作品、国立アイヌ民族博物館とウポポイなどが取り扱われている 	<ul style="list-style-type: none"> 旭川市博物館が所蔵しているアイヌ民族の衣装の文様や旭川家具の職人が製作した「君の椅子」プロジェクトの木工作品、北海道立近代美術館の所蔵の絵画作品などが取り扱われている 	<ul style="list-style-type: none"> 北海道立近代美術館に所蔵されている「鯉文花器」や北海道の地域を象徴する文字を扱ったロゴマーク、旭川市の買物公園に設置されている「手」の野外彫刻などが取り扱われている
	○ ICTの活用		

	<ul style="list-style-type: none"> 各題材に二次元コードが掲載され、インターネットを通して、様々なコンテンツを利用できるよう工夫がなされている 題材の導入動画が設定され、題材の内容を確認し、生徒が興味・関心をもって学習活動に取り組めるよう工夫がなされている 	<ul style="list-style-type: none"> 解説動画や生徒が端末に書き込むことができるツールなど、多様なコンテンツで鑑賞が深めることができるよう工夫がなされている 全国の多様な生徒作品が数多く紹介され、作品を制作した生徒のインタビューにより、学びの意欲を高めるよう工夫がなされている 	<ul style="list-style-type: none"> 全題材で題材導入動画が掲載されるとともに、情報機器活用のヒントを示したICTマークが位置付けられるなどの工夫がなされている 著名人や作家のインタビュー動画が多数用意され、生徒の興味や関心を高めるよう工夫がなされている
	○ 小中連携した指導		
	<ul style="list-style-type: none"> 「図画工作から美術へ」の三つ折り4ページ構成の中で、図画工作での学びや美術の学習を、児童・生徒の様子と合わせて示し、見通しをもって捉えることができるよう配慮がなされている 	<ul style="list-style-type: none"> 「美術の扉を開こう」の中で、図画工作と美術のつながりを明らかにし、生徒の様子や作品から学習の見通しをもたせるよう配慮がなされている 	<ul style="list-style-type: none"> 「ようこそ美術の学びへ」の見開き2ページの中で、図画工作での経験や学びで身に付けたことを、美術でも活用できることを示し、学びを見通すことができるよう配慮がなされている
本市生徒の学習の状況等	○ 絵に表現する活動において、形や色、光や影などの性質や、それらが感情にもたらす効果などを理解して表現する力の育成		
	<ul style="list-style-type: none"> 巻末の「学びの資料」で、基本的な色彩や光の特色などが扱われたり、具体的な技法の例を示したりするなど、生徒の表現を支える工夫がなされている 	<ul style="list-style-type: none"> 「別冊資料」が用意され、基礎的な技法等を紹介するとともに、二次元コードに多数の具体的な技法動画が用意され、様々な技法の仕組みを体感して学ぶことができる工夫がなされている。 	<ul style="list-style-type: none"> 各巻末の「学びを支える資料」で、色彩の基本や仕組み、様々な技法が取り上げられているとともに、二次元コードの動画などで主体的な活動を促す工夫がなされている
	○ 目的や条件などを基に強く感じたことや表したいことを考え、豊かに発想する力の育成		
	<ul style="list-style-type: none"> 各題材の「発想・構想」のコーナーで、アイデアスケッチや生徒の活動写真、生徒作品例などを通して、主題を生み出す力を身に付ける活動を提案する工夫がなされている 各題材にキャラクターの吹き出しで生徒の視点からの気づきや思考のヒントが掲載され、豊かな発想につながるよう配慮がなされている 	<ul style="list-style-type: none"> 全ての表現題材に、作品の発想を広げ、構想を練るための具体的な手立てが掲載されるよう工夫がなされている 「みんなの工夫」を位置付け、思考の流れや生徒のインタビュー動画などを掲載し、生徒が試行錯誤しながら制作に取り組む様子を丁寧に紹介するなどの配慮がなされている 	<ul style="list-style-type: none"> 全ての表現題材で、発想・構想の手掛かりとなる「表現のヒント」や、発想を引き出し、構想を深める手掛かりとなるアイデアスケッチを多数掲載するなどの工夫がなされている アーティストの制作過程や造形活動に活用できる手立てを紹介するなど、生徒一人一人の表現の幅が広がるよう配慮がなされている
○ 鑑賞において、作者の心情や表現の意図などについて考え、見方や感じ方を広げたり深めたりする力の育成			
<ul style="list-style-type: none"> 「鑑賞」の小見出しと鑑賞のポイントを示す問いかけを関連させ、生徒同士が対話を通して新たな気づきやイメージを広げることができるよう工夫がなされている 原寸での作品掲載や、小さい図版では 	<ul style="list-style-type: none"> 形や色彩、材料などの〔共通事項〕を意識できる問いかけが吹き出しで示されており、作品の鑑賞を深めることができるよう工夫がなされている 大開きのページの設定や和紙のような 	<ul style="list-style-type: none"> 題材ごとに「鑑賞の入り口」と「造形的な視点」が示され、鑑賞と表現を関連させて掲載作品を鑑賞することができるよう工夫がなされている 両観音開きのページを設定し、実際に 	

	気付きにくい細かい表現まで見取ることができるよう配慮がなされている	風合いのある用紙の使用など、本物に近い感覚で鑑賞できるよう図版の工夫がなされている	折って立てて鑑賞できる屏風作品や実際の大きさを体感することができる原寸大図版が掲載され、実感的理解を生み出す工夫がなされている
その他			